

第14回 済生会生活困窮者問題シンポジウム

子ども支援フォーラム

令和6年

10/12^土

開催時間

13:00~16:00 (受付12:00~)

会場 春日部市民文化会館 (小ホール)

定員 400名 入場無料

どなたでも
参加可能です!



講演会

基調講演

壊されゆく子どもたち

—今私たちにできること、
しなければならないこと—

講師

水谷青少年問題研究所 所長

水谷 修 氏



プロフィール

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。

上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。12年間を定時制高校で過ごす。

教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行っている。

また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。

その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。

シンポジウム

テーマ

子どもを取り巻く 多様な問題を考える

パネリスト

一般財団法人彩の国総合教育研究所理事長

畠山 清彦 氏

NPO法人埼玉フードパントリーネットワーク理事長

草場 澄江 氏

ケアリーバー (社会的養護経験者)・株式会社 LIXIL

後藤 拓也 氏

社会福祉法人済生会支部埼玉県済生会彩光苑所長

田鳥 襄 氏

コーディネーター

大分大学・大分保護区保護司会 (元佐賀県済生会)

工藤 修一 氏

主催：社会福祉法人済生会支部埼玉県済生会 彩光苑

後援：埼玉県、春日部市、春日部市教育委員会、春日部市社会福祉協議会、埼玉県社会福祉士会



フォーラム開催趣旨



社会福祉法人 財団法人 済生会は、「済生会生活困窮者支援事業（なでしこプラン）」を法人全体で積極的に取り組んでいます。彩光苑では、子ども学習支援・不登校（引きこもり含む）・ヤングケアラーなどソーシャルインクルージョンの考えの下に社会貢献活動を推進しています。少子高齢化社会が加速する中でも、近未来社会の担い手となる子どもが、いきいきと成長できる環境をつくるためには、地域社会全体で支え合うことが大切です。子どもたちの将来が健全で明るく幸せな社会生活を送ることができるよう、地域のみなさまと一緒に考える機会になればと考えています。新しいまちづくりの一環としても重要な要素であり、関係機関と連携して「こどもまんなか社会」の実現を目指し、「子ども支援フォーラム」を開催いたします。



アクセス 春日部市民文化会館

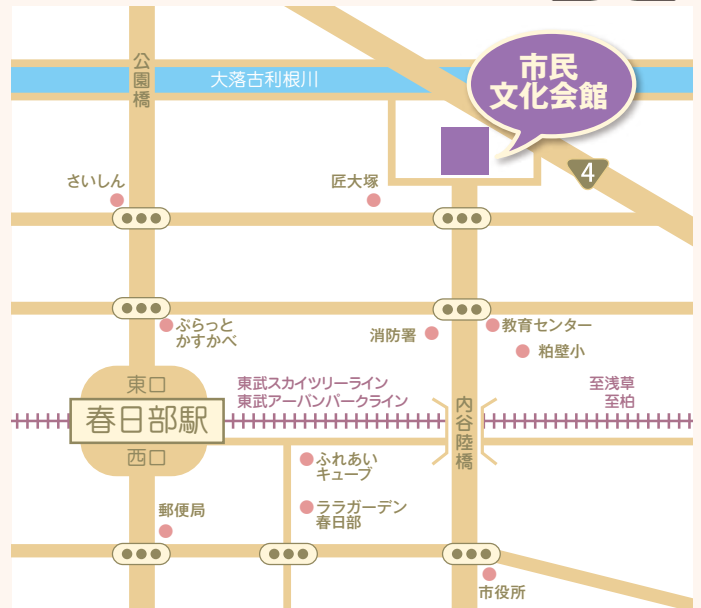
所在地：〒344-0062
春日部市粕壁東二丁目8番61号

〔電車でお越しの方〕

- 大宮駅から東武野田線（アーバンパークライン）で約21分
- 北千住駅から東武伊勢崎線（スカイツリーライン）急行で約30分
- 新越谷駅から東武伊勢崎線（スカイツリーライン）急行で約15分
- 春日部駅東口下車 徒歩約15分

〔バスでお越しの方〕

- 朝日バス《行先》イオンモール春日部前または、関宿中央ターミナル・はやま工業団地 匠大塚本店前下車 徒歩3分
- ※駐車台数には限りがありますので、公共交通機関での来館にご協力ください。



参加申込書

下記必要事項をご記入のうえFAXまたはEメール、もしくは下記二次元コードより応募フォームをご利用ください。

● 支部・施設・団体名		● 電話番号またはEメール	
● 参加者		● (氏名)	
● (所属・職名)		● (氏名)	
● 参加者		● (氏名)	
● (所属・職名)		● (氏名)	

※複数名で参加する場合は、参加申込書に加えて同行者の氏名を記載した別紙（任意様式）を送付してください。

Eメール symposium_saikouen@saiseikai-kasukabe.jp

FAX **048-755-2113**

2次元コード 右の2次元コードを読み込み、お申し込みください。



お申し込み締切
9月28日(土)
※当日参加もOK!

〔問合せ先〕 社会福祉法人 財団法人 済生会支部 埼玉県済生会 彩光苑
地域支援課 手島 TEL 048-755-2111